

『鈴木清順監督作品特集』映画上映会のご案内



© 1958 Nikkatsu Corporation

当館、国際交流基金、サンマルティン劇場及びシネマテカ・アルヘンティーナの共催による「鈴木清順監督作品特集」を3月18日～4月5日（祝日休館）まで、サンマルティン劇場（Av. Corrientes 1530, CABA）にて開催いたします。

本事業のために日本から送付された35mmフィルム15作品のうち8作品はアルゼンチン初公開となります。鈴木監督は1967年に映画会社「日活」を去るまで、長期にわたりB級映画の製作に携わりました。当時、看板映画と共に複数本立てで上映されていたそれらの作品は「添え物映画」とも呼ばれ、分かりやすい娯楽映画が主流でしたが、鈴木監督は低予算、早撮り、大量生産という制約の中、モダンで新鮮な色彩感覚と映像リズムによる独自の世界観を作り出しました。今回の作品には、小林旭、宍戸錠、高橋英樹、渡哲也、吉永小百合など、後に日本を代表する俳優の初々しい姿も見られます。

また本事業は、1年以上にわたるサンマルティン劇場全面修復工事のため閉館されていたルゴエネス・サロンの再開後、初めての映画上映会となります。1967年の開館当時の装いを再現すると共に、最新設備が設置された同サロンともども、この機会を是非お見逃しなく。

会場 サンマルティン劇場 10階レオポルド・ルゴエネス・サロン
(Av. Corrientes 1530)

期間 2015年3月18日（水）～4月5日（日）

休館日 3月23日（月）、24日（火）、4月2日（木）、3日（金）

上映開始時間 17:00、19:30、22:00

入場料 25ペソ（一般）、15ペソ（学生、定年退職者）

3月18日(水) **悪魔の街**



(1956年、82分/主演：河津清三郎、芦田伸介)

復讐魔と化した兇悪脱走犯の一味が悪魔の街にくりひろげる連続殺人事件、銀行車襲撃事件を描く戦慄と恐怖の大ギャング映画。

19日(木) **8時間の恐怖**



(1957年、77分/主演：深見泰三、三鈴恵以子)

鈴木清順が清太郎名義で発表した初期のサスペンス映画。闇夜の山道に行くバスを襲った息づまるスリルとサスペンスの連続。

20日(金) **暗黒街の美女**



(1958年、87分/主演：水島道太郎、芦田伸介、白木マリ)

ハードボイルド・アクション。胸に秘められた謎のダイヤをめぐる男対男の死闘、白木マリの妖肢が躍動する超娯楽活劇篇。

21日(土) **青い乳房**



(1958年、90分/主演：小林旭、渡辺美佐子)

鈴木監督が斬新な手法で現代の親と子、大人と子供の間にある真空地帯を衝きドライな背景の上に抒情と涙を湛えるドラマ。

22日(日) **暗黒の旅券**



(1959年、88分/主演：葉山良二、沢たまき)

新婚の日に新妻を絞殺された、若きバンドマンが復讐にもえ、自ら犯人を追って麻薬密輸団に挑戦状を叩きつけるスリラー活劇篇。

23日(月) (上映なし)

24日(火) "

25日(水) **素ッ裸の年令**



(1959年、53分/主演：赤木圭一郎、堀恭子)

日活得意の青春もの。爆発的エネルギーをスピード・スリル・セックスに賭けるローティーン・ヤクザの生態を赤裸々に描く問題作。

26日(木) **「十三号待避線」より、その護送車を狙え**

(1960年、79分/主演：水島道太郎、渡辺美佐子)



謎の連続殺人のかけに躍る黒幕を追って女体密輸団に挑戦する熱血看守の活躍を描くアクションドラマ。

27日(金) すべてが狂ってる



(1960年、71分/主演：川地民夫、芦田伸介、吉永小百合)

狂った現代に反抗して死んでゆく二人の男女高校生を中心に、親と子、若者と大人の世代の断層がもたらす悲劇を描く、ビート族映画の異色作。

28日(土) 海峡血に染めて



(1961年、83分/主演：和田浩治、葉山良二)

海上保安大学生の和田が、実習の為生れ故郷の巖島に帰って巡視艇にのりこみ、密航、密輸と海の護りに若さを叩きつける痛快アクション。

29日(日) 野獣の青春



(1963年、92分/主演：宍戸錠、木島一郎)

親友の命を奪った悪徳組織へ激しい怒りを叩きつける元刑事の激情と挑戦を描く。

30日(月) 関東無宿



(1963年、92分/主演：小林旭、伊藤弘子)

ヤクザの世界の醜さと空しさを鋭いタッチで見事に描破した文芸巨篇。ほとぼる清順美学と颯爽としたアキラの着流し姿が魅力の任侠アクション大作。

31日(火) 刺青一代



(1965年、87分/主演：高橋英樹、和泉雅子、花ノ木寿)

兄はヤクザ、弟は仏具師。非情なヤクザの世界から足を洗うため、弟と満州への脱出を図る二人の兄弟愛を凄絶なアクションで描く仁侠巨篇。

4月1日(水) 東京流れ者



(1966年、83分/主演：渡哲也、松原智恵子)

流れ者シリーズ第1弾。日活最大のホープ、渡哲也の魅力を最大限に発揮した痛快味満点のアクション大作。

2日(木) (上映なし)

3日(金) //

4日(土) 殺しの烙印



(1967年、91分/主演：宍戸錠、小川万里子)

アクションのエース・宍戸錠が“失敗は死”という殺し屋の宿命を背負いながら、No.1の地位に意欲をみせるハード・ボイルドアクション。

5日(日) ピストルオペラ

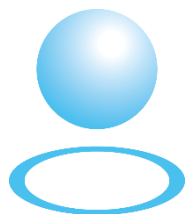


(2001年、112分/主演：江角マキコ、山口小夜子)

サイケデリックな衣装、原色を多用したカラーが爆発する清順のピカレスク・ロマン。殺し屋組織“ギルド”メンバー達の、極彩色フィルム・ノワール。



JAPAN FOUNDATION
国際交流基金



Centro Cultural e Informativo de
la Embajada del Japón en Argentina



COMPLEJO TEATRAL
DE BUENOS AIRES



Fundación
Cinemateca
Argentina